



2020-21年度クラブテーマ
「一視同仁」～優しさを育てよう！～

2020年11月25日 臨時週報

例会中止お知らせ

先週より新型コロナウイルス感染者が全国的に増加し、特に大阪府においては急増加しております。このような非常に厳しい状況の中での例会開催について執行部で検討致しました結果、会員皆様の安全を最優先に考え、本日の例会は中止との判断をいたしました。次週の例会開催については状況を見ながら判断し、追ってご連絡致しますので、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。会員の皆様、くれぐれもお身体にはお気をつけいただき、どうぞ安全にお過ごしくくださいますようお願い申し上げます。

■地区行事等出席予定(敬称略)

11/25ローター研究会オープンフォーラム 初木
11/30会長幹事会 (zoom会合) 初木、白井
12/12地区大会 初木、國田、白井

■メーキャップ報告

11/20 田中商人会員 大阪大手前RC

第 2184 回
例会出席報告 (11月18日)

総会員数	86名
出席者	31名
出席率	—

11月18日 ゲスト 1名
溝畑正信 様(大阪アーバンRC)



合計	¥35,000-
累計	¥538,000-



(敬称略・順不同)

*初木会長本日はお世話になります財団月間に因んでポリオ根絶についてお話をさせていただきます 溝畑正信様(大阪アーバン)
*溝畑先生の卓話に感謝して 初木賢司
*溝畑様ご講話ありがとうございました 中島 一
*溝畑様ご講話ありがとうございました 松吉富美彦
*お見舞い頂きありがとうございました 三木 彰
*3分間スピーチ緊張しました 今平健一
*山中先生ご受章誠にめでとうございます 今後ともご指導のほどよろしくお願い致します 大橋智洋

20-21年度地区大会

2020年12月12日(土)
13:00~会長幹事会
14:00~本会議開会
17:30 本会議閉会

※今年度は新型コロナウイルス対策のため入場制限があります!

[地区ホームページよりライブ配信!](#)

20-21年度台北国際大会
21年6月12日(土)~14日(月)

*本会議 6月13日(日)
*大阪ナイト 6月13日(日)

参加ご希望の方は
事務局まで
お問い合わせください!

今後の予定

12月2日(水) ひらかた仙亭 12:30~13:30	■年次総会「クラブ全員協議会」 ・次年度役員理事選挙 ・細則改正 ■定例理事会
12月9日(水) ひらかた仙亭 12:30~13:30	■外部卓話 劇団「昭和座」 座長 武島 秀吉 様

会長の時間



初木 賢司 会長

コロナ感染症が第3波に入ったようで大阪での感染者が徐々に増加しておりますが、本日からお気付きのようにアクリル板を設置させて頂き、感染防止対策を考えての上での例会開催とさせて頂いております。できるだけ私語を控えて頂き、マスク着用での例会開催にご協力頂きますようお願いいたします。さて、先週の10日11日に社会奉仕事業の一環で、東北支援として気仙沼RCの例会に出席をし、気仙沼南RCにも支援金の授与をさせて頂きました。そして昨年度に予定をされていた友好クラブ締結の件ですが、コロナ感染症の関係上、遅れましたが先方との協議が相整いこの度目出度く友好クラブとしての締結調印式も同時に開催をさせて頂き、これからも友好クラブとしてお互いのクラブがより一層の親睦と奉仕活動に協力することを確認してまいりましたことをご報告させていただきます。

また、来年1月末には恒例の気仙沼RC主催で開催されます気仙沼市内の高校生に対して奨学金授与式が予定されているようで、改めて正式にご連絡があれば「一度気仙沼に行ってみよう！」と思われる方は、感動を共にしませんか？会長幹事も参加予定ですので是非お声がけ下さい。なお友好クラブ締結までの詳細については、次週例会時の卓話として山口尚志友好クラブ委員長より東北支援の10年を熱く語って頂きますので、お楽しみにしていただければと思います。そして、本日の卓話ですが11月はR財団月間なので、普段はあまり関心がない「ポリオ」に関してのお話を聞いていただければと思います。毎年皆様方の会費より50\$をポリオ撲滅に対して寄付をさせて頂いております。本日は、私が2660地区へ出向していた折に、地区R財団委員長を経験され、現在は国際R2015-2020年R財団第3ゾーン地域コーディネーター補佐をされておられ、自ら幅広くロータリー活動を実践されておられます「大阪アーバンRC」の「溝畑正信」様にこの後お話を頂く事となっております。溝畑様宜しくお願いたします。それでは、これで会長の時間を終わらせていただきます。ありがとうございました。

講話 「ポリオ根絶」国際ローター第3ゾーン2015-20地域コーディネーター補佐 溝畑正信様



溝畑 正信 様

11月のロータリー財団月間に因んで「ポリオ根絶」についてお話させていただきます。ロータリー章典(2019年1月) ポリオプラスプログラムが成功裏に終了するまで、いかなる他の組織全体のプロジェクトも検討されない(2017年1月理事会会合、決定87号)と決定されました。国際ロータリーは1988年に、世界保健機構(WHO)、UNICEF(国連児童基金)と米国疾病対策センター(CDC)などと共に世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)を組織し、その後、ビル&メリンダ・ゲイツ財団およびGAVIが加わりました。ロータリーは30年以上にわたって地球上からポリオをなくす活動を継続しています。

1988年当時のEradicationという英語に対応する日本語は、撲滅という言葉でしたが、現在、GPEIを構成する組織では「根絶」を使っています。ポリオウイルスは、咽頭、扁桃、頸部リンパ節および小腸の細胞に感染し、腸管感染成立後、ウイルス血症を経て、血液脳関門を介した侵入、あるいは神経軸索を介した伝達により中枢神経組織へ侵入します。ポリオの治療薬は存在しない為ポリオワクチンによる予防接種がポリオ発症予防および流行制御の基本戦略となります。

日本では、1960年に北海道でポリオが大流行し、1961年に、旧ソビエト連邦及びカナダから経口生ポリオワクチンの緊急輸入が行われ、全国一斉集団接種が開始されました。その後、1964年からは国産OPVの導入・定期接種が開始され、野生株ポリオウイルスによる小児麻痺の発生は激減し、日本では1981年以降、野生株ポリオウイルスによるポリオ患者は報告されていません。世界ポリオ根絶計画:多くの感染症がある中で、なぜ「ポリオ根絶」なのか？それは、重篤な疾患の大規模な流行、自然宿主はヒトのみ、有効で安価なワクチン、天然痘根絶の成功体験、多くの国・地域でポリオフィリーを達成があるからです。Polio Endgameで残されたリスク要因は、ポリオ常在国における野生株ポリオウイルス伝播の継続、ポリオ根絶地域への野生株伝播とポリオ再流行、ワクチン由来ポリオウイルス(VDPV)によるポリオ 流行です。2020年10月21日現在の野生型ポリオウイルスの症例数は全世界で132、常在国のアフガニスタン53、パキスタン79です。昨年同時期よりも増加しています。非常在国では0です。新型コロナウイルスの感染拡大で、他の感染症を防ぐ予防接種の取り組みが中断され懸念されることです。

世界保健機関(WHO)は、2020年8月25日、WHOアフリカ地域の全47カ国において野生型ポリオウイルスの伝播が正式に断ち切られたことを発表しました。残るはアフガニスタンとパキスタンとなりました。残された課題は、ポリオの感染が途絶えたことのないアフガニスタンとパキスタンの2カ国における野生型ポリオウイルスの根絶です。アフリカでも引き続き、野生型ポリオウイルスが戻らないように、またワクチン由来のポリオウイルスから子どもを守るために、日常的な予防接種を強化する必要があります。ワクチン由来ウイルスによる症例はまれですが、アフリカの一部地域で症例が確認されています。

ポリオを根絶するには、質の高い予防接種キャンペーンを引き続き優先して展開しなければなりません。新型コロナウイルスの流行中も、子どもへのポリオ予防接種を行いつつ、医療従事者を新型コロナウイルスから守り、感染拡大につながらないようにする必要があります。2019年12月16日～20日の5日間のパキスタンでのポリオ全国予防接種デーには50,000以上のチームが、3,960万人の子供をターゲットにポリオワクチン投与が計画され、私たち日本からの13名はカラチで12月16日、17日の2日間参加しました。パキスタンに外国からワクチン投与に入ったのは、日本が初めてです。

インド全国一斉に2020年1月19日から23日までの5日間にわたって実施されたポリオワクチン投与活動に、デリーにおいて18、19、20日の3日間参加しました。実際のポリオ患者を目の当たりにして、このような悲惨な病態を引き起こすポリオはこの地球上から何としても根絶しなければと、強く思いました。そしてそのためには私たちロータリアンの支援が必要です。